

令和4年度 新潟市環境優良事業者 活動報告書(3R推進部門)

弊社は創業以来リサイクルに関わる企業です。
EA21 (SDGs) にも10年以上取り組んでいます。



エコアクション21
認証番号 0004366

ONEカンパニー

環境経営方針 基本理念

アイビス技建株式会社は、廃棄物の収集運搬・中間処理、建築物環境衛生総合管理業、インフラの管理・運営を通じて地球環境保全、公衆衛生の向上に貢献する企業を目指します。

また、お客様のニーズに応えるため、常に安全で確実な施工工法の導入と社員の技術の向上に努め、進化し続ける企業となるよう、以下の行動指針に基づき活動を行い、環境経営の継続的改善に努めます。

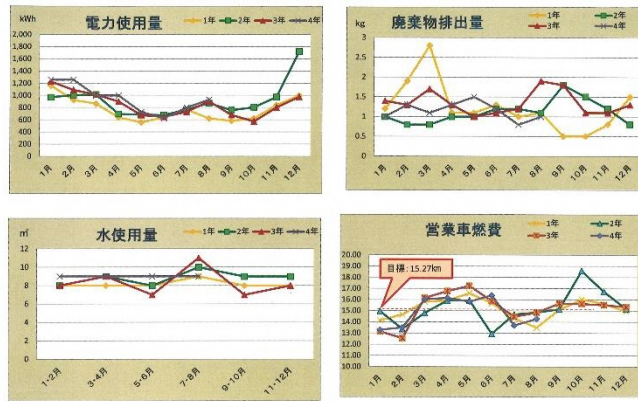
行動指針

1. 電力・化石燃料の使用量を抑制し二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. サーマルリサイクルによる省資源の実現に努めます。
3. 廃棄物処理業者としてリサイクル率の向上に努めます。
4. 建設業者として、当社の主要事業である下水道管関連工事から発生する汚泥の再資源化に努め、廃棄物排出量の抑制に努めます。
5. 節水活動を行い、水使用量の削減に努めます。
6. 環境関連法規を遵守し、環境汚染の未然防止に努めます。
7. 環境経営方針は、社員全員に周知し、広く公表します。

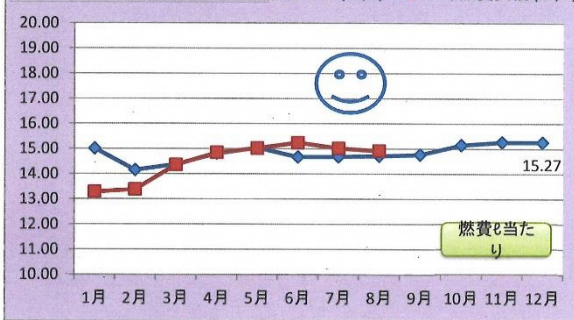
平成20年9月1日制定
令和4年3月1日改定

アイビス技建 株式会社
代表取締役 菅室知子

本社 令和4年 実績の推移



営業車燃費向上 燃費目標 (km/l) 4年燃費実績 (km/l)



環境経営目標【中長期的目標】

NO	環境項目	部門	単位	基準年実績	目標年度	目標年度	目標年度
				令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1	電力使用量の削減 ＜二酸化炭素排出量の削減＞	本社	kWh	10,946	10,924 (△0.2%)	10,913 (△0.3%)	10,902 (△0.4%)
		新潟田リーノ クル工業 中間処理	kWh	30.30	30.24 (△0.2%)	30.21 (△0.3%)	30.18 (△0.4%)
		建物管理一般	kWh	332,178/kw 11,520.7t	7,558 (△0.2%)	7,550 (△0.3%)	7,543 (△0.4%)
全社				ka-CO ₂	195,705.4	—	—
2	化石燃料使用量の削減 ＜二酸化炭素排出量の削減＞	本社	kg	15.22	15.25 (+0.2%)	15.27 (+0.3%)	15.28 (+0.4%)
		新潟田リーノ クル工業 中間処理 (備前)	kg	295,654kg 13,120.5kg	25.99 (△0.2%)	25.94 (△0.3%)	25.79 (△0.4%)
		建物管理一般	kg	1,402 LPG 1,120ml LPG 112,600 295,103.4kg 12,520.7t	77.14 (△0.2%)	76.99 (△0.3%)	76.83 (△0.4%)
全社				ka-CO ₂	853,583.1	—	—
二酸化炭素総排出量(全社)				ka-CO ₂	749,289.4	—	—
3	一般廃棄物排出量の削減	本社	kg	13.4	13.4 現状維持	13.4 現状維持	13.4 現状維持
		新潟田リーノ クル工業	kg	2,595.0	2,595.2 (△0.3%)	2,595.2 (△0.3%)	2,595.5 (△0.4%)
		建物管理一般	kg	1,588.0	1,554.9 (△0.2%)	1,553.3 (△0.3%)	1,551.8 (△0.4%)
全社				kg	4,177.4	4,159.1	4,156.2
4	上水使用量の削減	本社	m³	53	53 現状維持	53 現状維持	53 現状維持
		新潟田リーノ クル工業	m³	916	916 現状維持	916 現状維持	916 現状維持
		建物管理一般	m³	245	245 現状維持	245 現状維持	245 現状維持
全社				m³	1,214	1,214	1,214
5	委託業務の 再資源化の向上	新潟田リーノ クル工業	%	100%	100%維持	100%維持	100%維持
6	委託業務の 再資源化の向上	新潟田リーノ クル工業	%	99.6%	99.6%以上	99.6%以上	99.7%以上
7	車両事故発生の削減	全社	件/年	11	11以下	10以下	10以下
8	徳却処理受入量の増加	新潟田リーノ クル工業	t	—	—	実績把握	実績把握
9	技術の取得	全社	各種研修会 の参加回数	—	—	3	4

※1 「委託業務の再資源化」については、中間処理入量と再資源化の割合を目標とする。(有価物混入は不可)
 ※2 「委託業務の再資源化」については、工事で排出する産業廃棄物の再資源化の割合とする。基準値は各種廃物の排出があった総重量。
 ※3 輸入電力の二酸化炭素排出係数は、平均的年度東北電力の二酸化炭素排出係数(2019年)0.16kg/kWhを使用。
 ※4 当社の排出削減対策の化学物質使用量の削減と関係なく、目標管理を定期的に確認する。
 ※5 燃費目標達成率の向上については、現在燃費目標が未定のため、燃費目標の達成状況を把握できなかった目標管理を行う。
 ※6 二酸化炭素総排出量には、本社で目標項目以外のLPG、LPG、及び営業車両の燃費以外のガソリン使用量も含む。

承認	作成	承認年月日
代表者	環境管理担当者	令和4年3月1日
菅室知子	菅室智博	



14 海の豊かさを
守ろう



業務においても、既存下水の延命化や給・排水管の長寿命化で
エコな社会インフラのお手伝いをさせていただいています。

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



13 気候変動に
具体的な対策を



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



6 安全な水とトイレ
を世界中に



廃棄物から発電！
サーマルリカバリープラント
にて発電開始しました。



業務内容
再生土

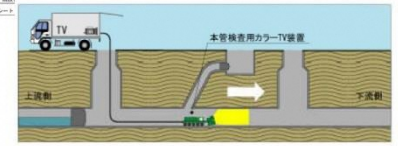
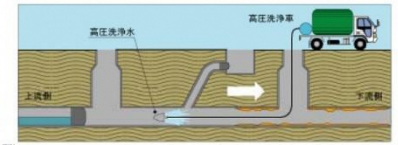


ibis
giken
アイビス技建

アイビス技建 株式会社



業務内容
下水道管更生



ibis
giken
アイビス技建

アイビス技建 株式会社

11 住み続けられる
まちづくりを



15 陸の豊かさも
守ろう



ibis
giken
アイビス技建



アイビス技建 株式会社